

## 議事録（無記名・要点記録）

### 第4回南砺市環境審議会 会議録

1. 開催日時 令和3年10月13日（水）午前9時30分～11時45分
2. 開催場所 南砺市役所本庁舎3階302会議室
3. 出席委員 5名（3名欠席）
4. 事務局出席者 総合政策部長、エコビレッジ推進課2名
5. 委託業者 エヌエス環境(株)3名
6. 会議次第
  - 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議 事
    - （1）市民・事業者・こども意識調査結果について
    - （2）第2次南砺市環境基本計画 第1章・第2章（素案）について
    - （3）第2次南砺市環境基本計画 第3章（素案）について
    - （4）望ましい環境像について
    - （5）その他
  - 4 閉 会

#### 【質疑応答、意見】

##### （1）市民・事業者・こども意識調査結果について

・アンケートで特別注目した箇所はどこか。

⇒地球環境分野を前回より深く聞いており、分野目標Ⅰの地球温暖化対策に繋がる設問を実施したところ。

##### （2）第2次南砺市環境基本計画 第1章・第2章（素案）について

###### 第1章

・南砺市が目指す環境像（p.13）で森林と記載があるが、森林地帯としないと誤解を招く。

山林（p.20）という言葉を使っている箇所もあり、森林に統一した方がよい。

・白山国立公園（p.13）の言葉も南砺市にそぐわないのではないか。

⇒環境像の箇所は森林地帯とする。

白山国立公園の言葉は、石川県のイメージが強いので、文章の表現を変える。

###### 第2章

・計画の担い手とその責務（p.8）に来訪者とあるが、他の自治体では事例があるのか。

⇒他市でも事例はある。

・来訪者に実行的に求めるのか。

⇒ルールを守って頂くという責任があるという意味。

・各分野目標（p.18～22）に該当するSDGsのゴールは繋がりという意味から、全て記載しなくてもよいのか。

⇒環境基本計画なので直接関係ないものは無理に入れない。

- ・具体的な計画に表すときは明確にした方がよいが、この計画では無理に入れなくてもよい。
- ・日本に向けられたゴールではないと思われるものもあるため、無理にあてはめなくてもよい。
- ・10年後の目指すイメージ（p.14～15）にイメージ図で（仮）とあるが、まったく違う絵を考えているのか？

⇒イメージとしてはこのようにパッと見てわかりやすいものを考えている。ご意見をいただきたい。

- ・森みちこさんの書かれたこの絵は南砺市らしさがあってよいが、この絵では足りないものがありすぎる。例えば、日よけのすだれや山の風車や花壇など、イメージが膨らむものをもっとこの絵に入れてほしい。
- ・絵を掲載することは反対ではないが、南砺市全体の写真や南砺市の部分的な写真や絵の方がまだよい。
- ・子どもたちにはこのような絵がわかりやすいため、計画本文中ではなく、概要版にあってもよいのではないかと思うが、環境を連想させるものが足りない。
- ・5つの基本目標（p.16）のところで、各分野目標に分けてイメージ図をつけてもよいのではないか。
- ・概要版の各分野目標のところでイメージ図を入れるはよいが、計画本文中に入れるのはよくないと思われる。
- ・5つの基本目標（p.16）のところがわかりにくいいため、表題は「分野目標○」→「○○○○○○」の順に入れ替えた方がわかりやすい。
- ・5つの基本目標（p.16）のところで、表題にあいまいな表現が記載されており、目標題目と一致してないのでわかりにくい。

⇒5つの基本目標（p.16）のところは、目標題目も記載してわかりやすくする。

- ・4つの分野目標と推進機軸とあるが、推進機軸を5つ目の分野目標とした方がわかりやすいのでは。
- ・推進機軸を5つ目の分野目標にし、説明文を加えて他4つの分野目標と同列なものではないとわかるようにすればどうか。

⇒わかりやすい図を検討する。

### （3）第2次南砺市環境基本計画 第3章（素案）について

#### 分野目標1 地球温暖化対策

- ・環境指標の設定では、日本における温室効果ガス排出削減目標は2030年度に2013年度比で50%削減を目指すこととなっており、50%削減できる目標になっていないのでは？

⇒環境指標の設定については各課が検討中である。今は現行計画のものを参考までに掲載したもので、今後修正を行っていく。

- ・環境指標の設定では、例えば「市道の道路照明のLED化」について、目標数値を基数ではなく、全体に対する割合で設定した方がよい。
- ・農機具からのCO2排出が大きいいため、トラクター等の農機具についても施策等を含めるか検討してほしい。

## 分野目標2 安全・衛生

- ・環境基準を超えている項目について、原因は分かっているのか。
- ⇒原因の分かっているものもあるが、自然由来のものはわからない。
- ・大気環境の保全に対する環境行動指針について、公共交通の利用について記載がないのは南砺市では難しいためか？
- ⇒脱炭素に向けた取り組みのところでは記載しているが、再掲というかたちで記載する。
- ・CO2排出削減の問題で電力会社の利用が大きく変わってくると思うが、それを実行するのは市民であり、エコドライブでは弱く、エコな電力会社への切り替えを進める等を入れてもよいのでは。
- ・各家庭でCO2を排出しない方策を考えると、まずオール電化となる。その場合、発電者側でのCO2排出の問題となるため、その部分をどのように扱うか。例えば再生可能エネルギーの電気を供給する電力会社に切り替え、電気自動車に切り替えればCO2排出ゼロとなる。企業は再生可能エネルギーの電気を供給する電力会社への切り替えを始めているところもある。
- ⇒地球温暖化対策のところに再生可能エネルギーの電気を供給する電力会社への切り替えを記載することも考える。
- ・地域エネルギー会社の話もあり、地域の再生可能エネルギーをいかに集めるかが重要であり、地域での取り組みとなるため、施策として入れてもよいのでは。
- ⇒市民意識でも再生可能エネルギーへの切り替えは大切であるが、コスト高から踏み切れない意見が多い。

## 分野目標3 自然と共生

- ・環境指標の設定（p.67）で地球温暖化対策の環境指標の設定（p.30）の間伐面積（森林整備面積）と重ならないようにする。
- ・南砺市の自然と共生を考えた時に、メインは森林であるが、農地はどのような方針の施策を考えているか？
- ⇒田園風景を含めた散居村の景観保全がある。
- ・散居村の景観保全もあるが、効率を考え機械化や圃場整備を進めていく必要があると思うが、現在の水田の広さを維持できるか？
- ⇒水田を山に返すということをおられる方もいますが、南砺市全体では進んでいない。
- ・南砺市では山に返すような水田はあるのか。
- ⇒山際の方ではそのような議論もあるが、個人的な意見交換の範囲である。
- ・環境指標の設定で集団化団地数（p.67）とあるが、集団化する時に調査をしており、山

際の農地で杉が生えていても登記上は農地だが、地目変更してすることで登記上農地がなくなり山に戻る。耕作放棄地でも営農をあきらめて地目変更される方が多い。水田の集約については事業者が大型化を進めていくものと思われ、申請される面積を把握しておいた方がよい。大型化になればCO2 排出削減にも繋がる。

・森林・農地・水辺の公益的機能の向上（p.63）でも多少触れているが、記述が短いので再度検討した方がよい。

⇒担当課とも相談して方針を決めたい。

・野生生物との共生のところで、鳥獣被害はどのような方針か？

⇒野生生物との共生（p.66）のところで鳥獣被害防止対策を講じているが、鳥獣駆除を含めての共生ということだが、具体的な対策までは記載していない。

⇒中山間地のようなところが鳥獣の境となっていたが、このようなゾーンがあればよいのでは。里山整備のようなもの。

・自然との共生という意味でも里山の整備のような計画は大事だと思うので明記した方がよい。

・環境行動指針で重要なものから順番にあげるようにする。

・林業の方はどのような計画となっているのか。柿の栽培は農業となるかもしれないが、担い手が不足しているようである。

⇒農地環境の保全・活用（p.64）のところで南砺市らしい現状と課題を加える。

・山の方の計画はどうか。10年後の目標はどうなっているか。

⇒担当課に確認する。

#### 分野目標 4 快適・心の豊かさ

・桜ヶ池等の観光資源開発によって、地域の景観と機能を高めるといったような内容はこの分野目標に盛り込まれるのか？

⇒特色ある景観・文化の保全・創造（p.76）のところに屋敷林や世界遺産の五箇山合掌造り、文化的遺産の保全についてはここに記載してありますが、観光資源的なことについては触れてはいない。

・桜ヶ池では新しいアクションプランを作ろうとしており、10年計画なので比重としては大きいと思う。

・各地域で行われている祭りは建物などの有形遺産と違う。祭りのような無形遺産は継続されるか。

⇒獅子舞は数字を捉えて保存されているかどうか毎年確認しているが、祭り一つ一つ自体は確認していない。獅子舞は他の計画で維持することとなっている。

・交通環境の整備（p.72）のバスについては、取り組みの継続とあるが脱炭素に向けて新たな取り組みを行うという文章に変えてはどうか。

・富山市のある地域の中でデマンドタクシーのような交通形態を作ろうと考えている。南砺市でもデイケアセンターのようなものが多くある。そういう事業所は高齢者を送迎する福祉車両をそれぞれが持っている。どの車も昼間は大体空いており、これを一つに集約して

地域のタクシー会社のようなところに一括してお願いすることで、経費も抑えられるような仕組みにならないか考えているところである。高齢者の送迎に加え、スーパーや病院に行けない交通弱者も利用できるように、定額料金で乗り放題等の仕組みを作ればよい。

- ・取り組みを継続や続けるという表現ではなく、向上させるなど、全般的に強めの表現に変えるかどうか見直しをしてほしい。人の意識をもう一段階上げるといような表現が良い。一人一人が自分事として捉えられるような表現がよい。

#### 推進機軸 人・しくみづくり

- ・環境指標の設定（p.82）に富山県地球温暖化防止活動推進員とあるが、このような推進員はいるのか？また、どのような活動か。

⇒小学校に行って環境の普及活動として課外授業を行うのが主な活動。

- ・事業者の役割は大きく、事業所の中に推進員のような人を設けて、事業者自らがこのような取り組みをしますという仕組みが出来ないか。

⇒SDGs パートナシップ制度というものがある。自分の会社ではSDGsのこのような取り組みをしていますと宣言して、南砺市とパートナーとなる。そういう輪を広げていけるように取り組んでいる。会社が目標を立てるときに、このような目標を掲げることで、会社としてモチベーションが上がるのではないか。

⇒南砺市として動かしている仕組みを入れ込んだ方がよい。

- ・IT化の話は、環境を守り育てる人材の育成のところでもよい。

⇒推進機軸のところでもよいと思う。

- ・現在、立山町のベンチャー企業で農業DXというものが行われている。農業の情報化は構想が広く上手くいくものと見ているところ。このような人材を育成するということは、推進機軸に入ってくる。学校のDXとか教育機関のDXとかを進めた方がよいと思っており、何か仕組みが加えられればよい。

- ・全般的な話で環境行動指針に来訪者とあるが、本当にそんなことが出来るのかと思われるものもある。色々な方がいるので、来訪者と違う言い方がよいのでは。

⇒アフターコロナでこの先観光客が多く来ることを想定すると、来訪者とあってもいいと思われる。ここは他市との違いでもある。

- ・市外からの交流者とか、仲間的な言い方で迎え入れられるような言葉がないか。一人でも多くの方が協力してほしいという前提で、何かよい言葉はないか。項目毎に旅行者などと記載するのもひとつ。

⇒計画の担い手とその責務（p.8）の来訪者のところに書いてもよいのでは。

来訪者という言葉も再考し、その言葉の説明文も再考する。

- ・全般的な話で市民とあるが、家庭の役割も大きいと思うので市民と分けて、例えば推進機軸のところでは家庭での教育のような言葉があるとよい。市民だと枠が大きすぎる。家庭でやるべきことを見えるようにできないか。

⇒環境行動指針のところで家庭では〇〇と記載したり、現状と課題のところで家庭では〇〇としたり、家庭に触れた具体的な記載にする。

⇒計画の担い手とその責務（p.8）の市民に法人等と記載があるが、再考する。

- ・家庭での教育について、環境を守り育てる人材育成（p.79）のところに記載されているが、ここに記載してはどうか。家庭における環境教育をもっと進める必要があるという問題意識や家庭での環境教育を推進していくための情報提供を強化していくということを記載してはどうか。

⇒とやま環境財団の方でもチャレンジ 10 学習を行っている。あの事業は子どもが家族を巻き込む形となっている。

- ・行っていることは記載し、さらに広めるための情報発信を行うことを追加して欲しい。

⇒家庭の中での環境教育についても追記する。

- ・環境と経済の好循環の推進（p.87）のカーボンニュートラルの図の 2030 年の数字は最新のものに差し替えるように。

#### （4）望ましい環境像について

- ・10 年先の環境の話をするのだから、10 年後に社会の中心になっている人、中学生・高校生の意見を反映してはどうか。審議会の中で 3 つ～5 つの案に絞って、中学生・高校生にアンケートで決めてもらうのはどうか。

⇒（各委員）同意。

- ・環境像（案）について選んだ理由または選ばなかった理由を教えていただければ。
- ・長すぎるものはよくない。暮らし続けられるという言葉もさみしい感じがしてよくない。20 文字程度がよい。創造等の難しい言葉もよくない。一流の田舎という言葉があった方が、インパクトがあってよい。
- ・一流の田舎という言葉があった方が、インパクトがあってよい。10 年後もこうあってほしいと思う。
- ・一流の田舎という言葉ははずして選択した。
- ・未来やみんなという言葉が入っていた方がよい。
- ・南砺市を象徴できる言葉が入っていることが大事と思って選択した。
- ・魅力あふれる一流の田舎よりは、みんなでつくる一流の田舎の方がよい。

⇒今のご意見を参考に、3 つ～5 つ程度の案に絞って市内の高校生等に意見を聞いてまとめたい。

#### （5）その他

⇒環境審議員のみなさまは 10 月末が任期となっているが、計画の作成は 3 月までかかるので、継続して 3 月末まで計画に関わっていただきたい。

⇒（各委員）同意。

以 上

※「・」は委員の発言、「⇒」は事務局等の発言